

# 上意東 研修センターだより

令和四年十二月一日

## 191号

発行責任者  
上意東地域づくり協議会会長  
森廣光彦

東出雲おちらと村  
0852-52-7888  
(FAX兼)  
Mail: ochirato@theia.ocn.ne.jp

ラインID  
ochirato



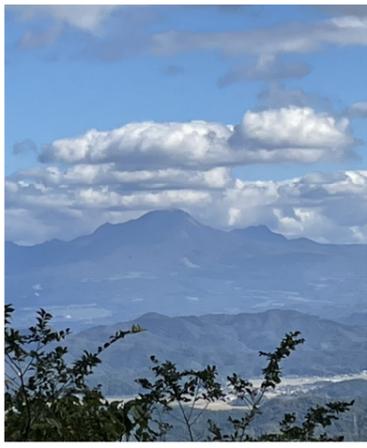
※ご意見等はこちらまで

# 秋の登山客シーズン賑わう



中海、大根島、島根半島の向こうに日本海と隠岐がかすかに見えます

例年になく小晴日和が続く中、京羅木山、星上山などに多くの登山客が訪れています。登山客もそれぞれの楽しみ方で紅葉の秋の里山を満喫していました。京羅木山頂で周りの壮大な風景を眺めながらお弁当を広げるグループや家族連れ、トレイランで京羅木山、星上山を目指す人、また、自転車で本谷奥組の星上峠展望台や熟れた柿の実が一面に広がる畑地区の急な坂道に挑戦する人、広島市から3時間かけ京羅木山を目指す70才代の男女の6人のグループなど様々な想いで登山客が訪れ賑わっています。



過去の研修センターだよりを、おちらと村ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。



## 秋の里山を歩く 秋を感じながら京羅木山にまつわる歴史を学ぶ

11月6日(日)、「秋の里山を歩く」登山イベントが行われ、10名が参加しました。今回は、山伏塚と三群山を訪れるコースでした。山伏塚を訪れた際には、思いもよらない大きな岩があり、「こんなところにはこんな大きな岩がある」とみなさん声をあげていました。

その後、三群山へ立ち寄り、京羅木山の頂上へ行きました。下山した後は、京羅木農産の弁当を食べながら、参加者同士本日の登山イベントについて楽しく話しました。山伏塚コースは、今後登山コースとして活用してもらえるよう、整備を検討しています。



## 親子イベント前に整備 植物観察会で 上意東を知る

10月26日(水)、11月上旬に予定していた親子の山歩きイベント(雨天中止)に向けて、おちらと村スタッフを中心に下見と整備を行い、同時に、島根県森林インストラクターの山野原さんにも同行してもらい、植物観察会を行いました。

コースは、おちらと村から市穂神社までマイクロバスで移動し、そこから徒歩で林道を通って星上峠展望台へ。

小さな子どもでも歩きやすいコースではありますが、竹や木が倒れており、車が通れない状態になっていました。また、日頃何気に見ている植物も名前や生態がわからないものも多く、確認しながら歩きました。



星上峠展望台では、新しくできたベンチに腰掛け、良い景色を眺めながら休憩することができ、とてもすがすがしい気持ちになりました。



# 中道バーベキューハウス完成 畑地区の方々との交流会が行われる

畑地区に建設された本格  
的なバーベキューハウス。  
建設された家主さんは富士  
本大祐(東京在住)で、富士  
本家の納屋跡に建てられま  
した。先日、畑地区の皆さ  
んにお披露目があり、参加  
した老若男女の十数人と富  
士本さんとボランティアの  
方々がバーベキューをしな  
がら歓談をして楽しみまし  
た。富士本大祐さんは「こ  
の施設と隣接の柿畑を使っ  
て、多くの皆さんを招き、  
畑地区の魅力発信をしたい」  
と抱負を話されました。

**体験拠点として活用  
人々が集まる場所に**

10月5日(水)に「しまね  
田舎ツーリズム」の事業と  
して、皮はぎ作業の体験と  
農家との交流会が、中道バー  
ベキューハウスで行われま  
した。

## おちらと木彫会

### 作品展を おちらと村にて開催

おちらと木彫会のメンバー  
による作品展が、10  
月8日(土)から11月5日(土)  
までの約一か月間、おちら  
と村ふれあい館で行われま  
した。

作品は、木彫りのレリー  
フ(浮彫りのこと)で、魚や  
カエル、お城など、18点が  
展示されました。どれも本  
物のようで今にも飛び出て  
きそうです。

おちらと木彫会は、毎週  
土曜日13時から15時までお  
ちらと村で活動をしている  
40代から80代の愛好家の集  
まりで、来年に結成20年を  
迎えます。

木曜日の午前中にいきい  
きプラザで「いきいき木彫



会」としても活動しており、  
しまね信用金庫本店営業部  
ギャラリーや中国電力ふれ  
あいホールでも展示会を行  
うなどし、精力的に木彫り  
のレリーフを制作していま  
す。

首都圏から参加された5  
名は「柿小屋の清掃」や  
「ケミカロープ切り」など  
の手伝いを体験しました。  
その後、柿生産農家とおで  
ん鍋や須田アスターズカラー  
の秋野菜煮の盛り合わせ、  
地酒などで賑やかな交流の  
ひと時を過ごしました。



## なごやか寄り合い

### 大人の新聞教室で脳活

11月15日(火)、おちらと  
村利用のサロンの方たち  
(12名)が、山陰中央新報社  
の大人の新聞教室を受講し  
ました。

その日の新聞を使い、ど  
こにどのような記事が書か  
れているのかを実際に調べ  
たり、講師の方から、新聞  
の読み方や山陰中央新報の  
歴史、新聞が出来上がるま  
での流れや裏話などを聞い  
たりしました。時間がなく  
できませんでした。気がな  
くなった記事をスクラップし、  
感想を書くことも勧められ



ました。  
「新聞を読む事は、脳活に  
もなるので、無理のない程  
度に毎日目を通し、新しい  
知識をどんどん取り入れて  
いって欲しい」と話されま  
した。



## 干し柿づくり

### 様々な世代が体験

11月1日(火)から11月3  
日(木)の3日間、おちらと  
村で干し柿体験づくりが行  
われ、市民大学から約50名、  
親子連れが14名参加しまし  
た。

畑ほし柿生産組合の方々  
の協力の元、今年、ピー  
ラーでの皮はぎだけでなく、  
ヘタを取る「りんたまわし」  
も体験してもらいました。  
恐る恐る柿を近づけていく  
方もおられました。が、「体  
験できてよかった」と、と  
ても好評でした。

参加者は、完成した吊る  
し柿を軒下にかけて、嬉しそ  
うに写真を撮っていました。



## 10月の出来事

- 各地区荒神祭 ● 6日(木)
- 揖屋小学校稲刈り体験 ● 8日(土)〜10日(月)柿小屋ナイ トミュージアム ● 8日(土)〜11月5日(土)おちらと木彫会 展示会 ● 10日(月)出雲金刀比羅宮秋祭り ● 13日(木)14日(金)松江市消防本部・島根県防災航空隊合同訓練 ● 15日(土)おちらと新鮮市場 ● 16日(日)まめなか学級 ● 19日(水)市穂神社秋祭り ● 19日(水)寄せ植え教室
- 30日(日)東出雲公民館主催大江美人伝説ゆかりの地を巡る

## 香典返しのお礼

畑地区 森廣紀元様より、ご家族様のご逝去に伴う香典返しとして「地域づくりの為に活用ください」とご寄付を頂きました。ありがとうございます。

(NPO法人かみいとう)

## お詫び

諸事情により、12月号について発行が遅くなり申し訳ありませんでした。お詫び申し上げます。

